

平成30年度 事業報告書

(自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 11 月 30 日)

公益財団法人つなぐいのち基金

<目次>

1.平成30年度事業の概観.....	3
(参照：平成30年度の事業計画における目標)	3
■平成30年度の概要 3つのポイント.....	3
2.公益目的事業（助成事業について）	4
■公益事業目的.....	4
■事業の趣旨	4
助成事業.....	4
■平成30年度助成事業の概要.....	4
■参照：平成31年度（平成31年度対象事業）の助成先募集の概要.....	5
助成事業のための啓発・広報活動について.....	6
■高校生との協働ゼミによる啓発・助成先支援活動 「あいりすプロジェクト」	6
■女子高生による助成先の取材レポート.....	6
■公益5周年に向けた活動予定.....	7
■活動報告書／会報の作成.....	7
3.資金調達について.....	8
■寄付金等 収益の概況	8
■収益の推移グラフ	8
■賛助会員の募集及び会費収入について.....	8
■寄付金	8
4. 管理運営状況について.....	9
■組織体制強化の必要性に向けて	9
■事業運営会議体の運営状況	9

1. 平成30年度事業の概観

(参照: 平成30年度の事業計画における目標)

公益移行認定より3年余りが経過し、また、内閣府公益認定等委員会事務局による初めての立ち入り検査も実施されました。スタートアップ公益法人から脱却していくため、財務基盤の確立を最優先事項とし、同時に公益目的事業である助成事業をより充実させていくことに注力することで事業全体の基盤強化をしていきます。

また、高齢者を中心とした多世代から次代を担う子どもたち世代への資源循環と相互扶助関係の構築を目指すと同時に、助成事業の運営で生まれる様々な価値ある無形資産も有効活用する仕組化に取り組んでいきます。

- ◆公財団法人として、必要となる財務基盤の強化を引き続き最優先とする。
- ◆公益法人として社会から信頼されるための事業のフィージビリティとガバナンスの確保を推し進める。
- ◆平成31年度以降の事業展開も視野に、助成事業の革新と実績を積み重ね公益の増進に寄与する

■助成事業スケジュール想定と考え方 (年度開始時は認定後である前提)

2018年度 1Q	業務執行(業務委託を含めた)の運営体制の確立 過去助成先の法人および事業運営状況の調査(取材)実施 マイ基金の本格募集の準備
2018年度 2Q	マイ基金の本格募集開始 マイ基金助成金の募集を開始 マイ基金助成金の選考 提供を開始
2018年度 3Q	継続助成等の新たな助成プログラムの準備 5周年記念イベントの準備・開催 決算月変更の対応
2019年度 1Q	平成31年度対象事業 助成募集

■平成30年度の概要 3つのポイント

- ① 決算月変更に伴う、助成事業の平成31年度と併せた形の助成事業の運営
- ② 事業の運營業務費用の計上開始
- ③ 下記の5つの課題についての継続した取り組み

全体的にまだまだ大幅に対応不足であることは否めない状況ですが、現状の当財団にできることに対しては着実に取り組んでおります。税額控除適用人としての証明取得、助成金額の増額、高校生ボランティアとの協働や事務業務委託などを活用し、少しずつではありますが一定の成果も上げてきております。

(事業運営における5つの課題)

1. 公財団法人として、継続的に事業運営するために必要となる財務基盤の強化および確立すること。
2. 公益法人として社会から信頼されるための事業のフィージビリティとガバナンスを確保すること。
3. 事業規模確保による助成事業の拡大と平成30年度以降も視野に公益の増進に寄与すること。
4. 立入検査における指摘事項への対応し事務を改善すること。
5. 助成先ニーズと非営利セクター環境の変化に対応した新たな助成プログラムを導入すること。

つきましては、事業活動の報告を以下の通りいたします。

2. 公益目的事業(助成事業について)

■公益事業目的

児童養護施設等に入居を余儀なくされた児童を支援する団体への助成事業

■事業の趣旨

本事業は、児童養護施設をはじめとした社会的養護施設、又は、社会的養護を必要とする児童を支援する団体(以下、「児童支援団体」とする。)に助成を行うことにより、児童の心身の健全な育成に貢献することを目的とする。

具体的には、家庭での虐待や貧困、親との死別などにより、社会的養護施設に入所せざるを得なくなった0歳から20歳の子供たちや、小児がん等の重度の病気のために、入院での闘病生活を余儀なくされている子供たちを養護するため、このような社会的ハンデを抱える子供たちを支援する団体に対する助成を行い、もって、児童の心身の健全な育成に貢献することを目的とする。

助成については、対象事業をより効果的なものとするため、助成金支給に加え、必要に応じてボランティア等が無償で支援する。

本助成事業は上記の目的実現に資するため、以下の条件を満たす活動を助成の対象とする。

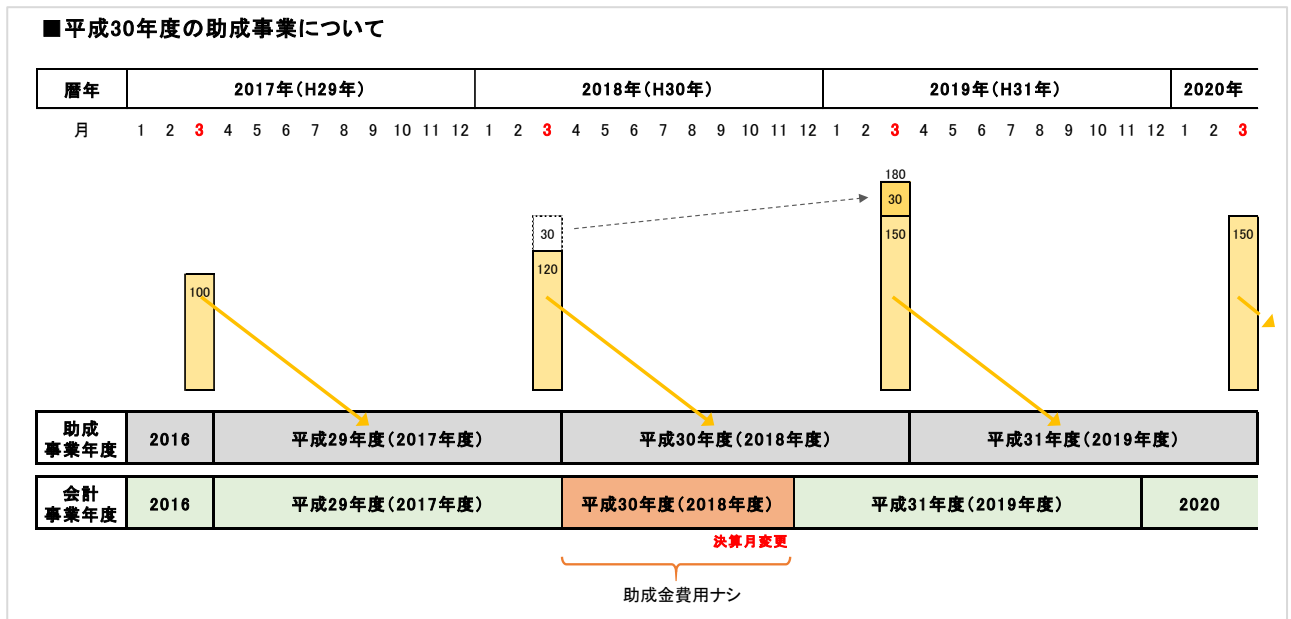
助成事業

■平成30年度助成事業の概要

平成30度は決算月の変更により、助成募集・支給は事業年度をまたいで平成31年度の実施とします。

これまで次年度助成対象事業原資を当該年度に計上してきましたが、平成30年度に決算月変更したことにより、平成31年度からは会計年度と助成年度を同一年度として事業運営を実施可能となります。

下記の通り、受益者である助成先は、不利益を被ることなく、これまでよりも分かりやすい案内にて助成金の機会を得ることができるようになります。



上記のとおりですので、平成30年度会計については助成金の支給がございません。

(※平成31会計年度は、平成29会計年度より繰越30万円をプラスして180万円を支給原資とします)

助成事業のための啓発・広報活動について

乳児院や児童養護施設やグループホーム等の社会的養護施設、又は、社会的養護設に入居する児童および重度の病気や障害で治療をする児童を支援するために活動する助成団体の活動、当財団を支援くださっているボランティアやプロボノのみなさんに当財団および仕組みを運営するため資金として、寄付金や賛助会員の募集、そのための広報、啓発活動を行っています。

■高校生との協働ゼミによる啓発・助成先支援活動「あいりすプロジェクト」

あるセッションでの出会いをきっかけにして、2年生は全員が海外留学するという郁文館グローバル高等学校プログラムの一つであるゼミ活動の一環として、福祉ゼミのみなさんと協働プロジェクトをスタートし2年目を迎えました。助成先取材、児童福祉に関する広報、児童養護施設支援などの協働で活動をしました。

2018年あいりすプロジェクト 2年目も大活躍中！

2017年に開始した活動は引き続き郁文館グローバル高校 社会福祉ゼミのみなさんと一緒に頑張っています！

活動スケジュール

5月10日 阿佐ヶ谷 ゆうやけ市 準備
5月11日 阿佐ヶ谷 ゆうやけ市 出店
6月19日 郁文館グローバル高校会議
6月23日 里山NPO法人 竹採り打合せ
7月22日 流しそめん大会 準備
7月29日 流しそめん用 竹採り
8月 5日 流しそめん用 竹組立て
8月 7日 流しそめん大会 開催
8月26日 聖友学園おたのしみ会参加
11月 6日 Global Week Session 参加
11月10日 阿佐ヶ谷ゆうやけ市 準備
11月11日 阿佐ヶ谷ゆうやけ市 出店
11月18日 児童虐待キャンペーン参加

8月～12月 助成先 取材活動
& レポート作成中です！

今年度は卒業して大学生となった先輩や中学生もボランティア活動に参加してくれています！

児童養護施設 流しそめん大会 竹採り～開催



助成先への取材活動

取材でお伺いしたお話は本当に勉強になりました！



■女子高生による助成先の取材レポート

多くのご支援者の方からお預かりした会費・寄付金が、助成先の事業で有効に利用されているかの確認、そして支援者様へのご報告を兼ねて、助成先団体への取材を実施しております。

この取材も本年度は高校生の協働により、助成事業の社会課題に対する実施状況、どのように子どもたちのために繋がっているかを分かりやすくお伝えすることを意図しております。

多くの助成先団体をウェブサイトに掲載しております。

<http://tsunagu-inochi.org/activities/report/>

チャイボラがつなぐ児童養護施設と学生の可能性
平成30年度助成事業実施レポート



助成先取材レポート チャイボラ

郁文館グローバル高等学校 福祉ゼミの協働プロジェクト「あいりすプロジェクト」の活動として、高校生と一緒に2018年度助成事業の取材活動の模様を、取材が実施された施設ごとに目録として取材レポートとして発信いたします。

■公益5周年に向けた活動予定

(国連の人間の連帯国際デーである12月20日で5周年です。)

5周年を記念したしまして、平成31年度実施予定にてさまざまなイベントを企画しております。

① 公益5周年を記念したバースデー寄付キャンペーンの実施

- ・12/1～2/28まで(非営利セクターの寄付月間の12月に合わせ)実施
- ・寄付サイトと連携し、創立キャンペーン寄付の特設WEBページを設定。リスティングも実施。
- ・財団ウェブサイトおよび印刷物の全面リニューアル

② 公益5周年記念イベントの開催

支援いただいております賛助会員・寄付者・選考委員・ボランティア・助成先のみなさまをご招待させていただきます。日程が確定しましたらご案内させていただきます。

＜予定コンテンツ＞

- ・活動 Photo 展示、助成先団体 資料展示コーナー
- ・過去助成先団体、協働高校生による発表
- ・新代表理事の就任ご挨拶（設立者である現副代表理事が就任予定）など

③ リフレット等のツール、ウェブサイトのリニューアル、公益5周年記念誌の発刊

- ・財団概要説明リーフレット、自分合った支援パンフのリニューアル
- ・冠基金のパンフを新調、そしてウェブサイトのリニューアルも進捗中です。

■活動報告書／会報の作成

活動の報告と支援者とのコミュニケーションとして活動報告書『Link⇔Age』8号を発行しました。

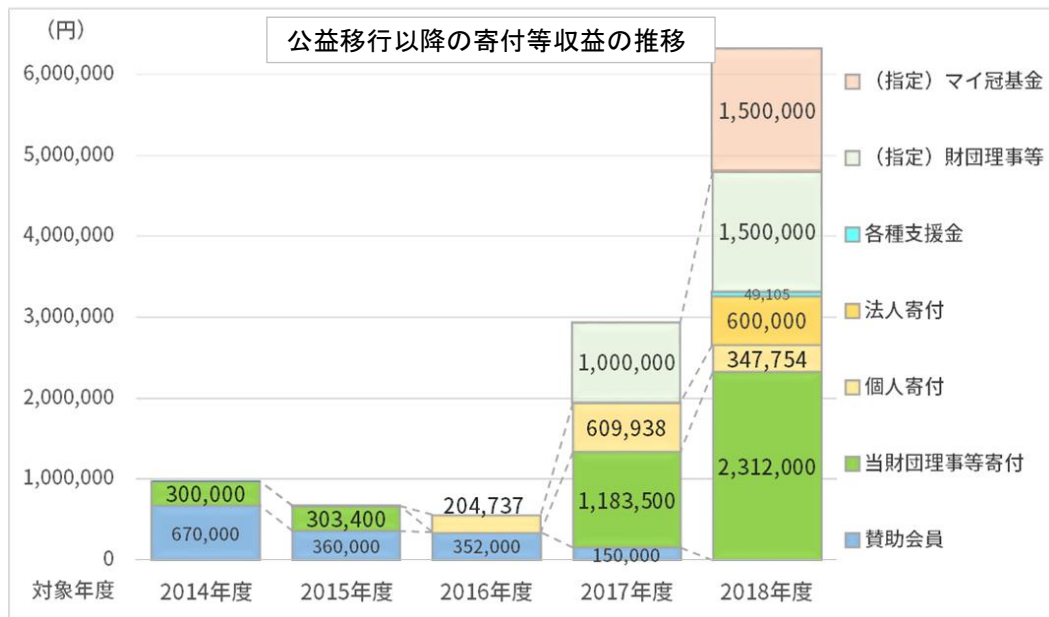


3. 資金調達について

■ 寄付金等 収益の概況

平成30年度の収入は、「マンスリーサポート制度」、「社会貢献物品寄付」、「クリック募金による寄付」などの様々なファンドレイジングのメニュー、個人寄付などの前年に対してより多くのご支援をいただくことができました。インターネットを中心に当財団の活動に共感いただき、より多くの方にご支援をいただくことができるようになってきております。さらに、新たな寄付方法の選択肢として「冠基金」の設立の提案を開始しました。

■ 収益の推移グラフ



■ 賛助会員の募集及び会費収入について

賛助会員の募集については、プロジェクトのオフィシャルサポート企業からも営業支援をいただき、「全国優良葬儀社名鑑」に記載された葬儀社のうち、関東、関西、中部の大都市圏にある葬儀社を中心に会員募集を行うこととなっておりましたが、賛助会員制度については、平成30年度に決算月の変更を計画していたこと、また供養寄付特設サイトのアップ予定もあったこともあり、あらたな募集は行いませんでした。

平成31年度以降はふたたび、会員制度の改定、個人および一般企業への勧誘を強化していく予定です。

【平成30年度実績】 会費総額 0円（予算 300,000円）

■ 寄付金

【平成30年度実績】 寄付総額 2,522,392円（予算 4,188,093円） ※指定正味財産寄付金を除く

マンスリーサポーター(個人月額継続寄付)による寄附金	154,800円
一般個人寄付	41,300円
法人寄付	14,500円
クリック募金サイトからの支援寄付	3,792円
当財団理事等による寄付	2,522,392円

※社会貢献物品寄付については増加しているが入金未了のため計上していません。

4. 管理運営状況について

■組織体制強化の必要性に向けて

平成29年6月23日法人設立後初となる内閣府公益等委員会による立入検査によりアドバイスいただいた事項を中心に、収益経路の増強と運営改善による財務基盤の強化と合わせて、公益法人として社会から信頼されるためのフィージビリティの確保、公益目的事業における着実な実績、新たな公益事業の領域の拡大と改善を申請と実行をするために当財団の組織体制の強化を推進しております。

■事業運営会議体の運営状況

評議員会

平成29年5月15日	第1号議案 変更認定申請の取り上げについて 第2号議案 変更届出について（平成29年度事業計画の変更） 第3号議案 平成28年度定期報告書類について
平成30年3月7日	第1号議案 「定款の一部変更案の承認」の件 第2号議案 「2018年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の承認」の件
平成30年6月7日	第1号議案 平成29年度定期報告書類（事業報告書および決算諸表等）の承認について 第2号議案 任期満了評議員の再任の承認について（立木評議員） 第3号議案 平成30年度役員会の日程調整（みなし理事会含む） 第4号議案 創立5周年記念について 第5号議案 冠基金の広報・募集の推進策について
平成30年11月7日	第1号議案 「2019年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の承認」の件

常任理事会

2017年4月10日	平成28年度決算・事業報告、変更認定申請・変更届出、理事会議事進行、規定関連 ほか
2017年6月28日	立入検査での打診事項対応、決算月変更 ほか
2017年7月28日	立入検査での打診事項対応、冠基金 ほか
2017年8月28日	事務所個室化、法人カード、業務委託関連、財団事業対象以外ボランティアメンバー活動提供方法 ほか
2017年9月26日	立入検査での打診事項対応状況、コミュニティ財団協会、プラチナ研究所 ほか
2017年11月1日	次年および以降の財団運営、平成30年度助成事業、冠基金 ほか
2017年12月4日	立入検査での打診事項対応状況、協働プロジェクト報告会（future session）、供養寄付サイト ほか
2018年1月15日	平成30年度事業計画 ほか
2018年3月2日	平成30年度事業計画、平成30年度助成事業 ほか
2018年3月29日	事務所個室化、冠基金設定、賛助会員募集 ほか
2018年5月14日	平成29年度決算・事業報告、会計方法の変更、評議員重任、事務室個室化 ほか
2018年6月28日	内閣府定期報告対応、シェアオフィス値上げ、FAX契約移行、理事寄付 ほか
2018年7月9日	次年度事業計画作成Process、助成事業進捗状況、高校生ボランティア協働 ほか
2018年8月29日	平成30年度事業計画内閣府審査完了、登記変更、代表者住所変更、FAX番号の変更 ほか
2018年9月19日	平成31年度事業計画、予算策定、公益5周年記念行事、税務関連住所変更、監事辞任、監事謝金 ほか
2018年10月3日	平成31年度事業計画、予算策定、公益5周年記念行事、H32度変更認定申請、遺贈寄付相談対応 ほか

理事会

平成29年4月17日	第1号議案 変更認定申請の取り上げについて 第2号議案 変更届出について 第3号議案 平成28年度定期報告書類について 第4号議案 会員に関する規程の改定について 第5号議案 寄附金等取扱規程の改定について 第6号議案 助成事業実施規程の改定について 第7号議案 評議員会の招集（平成29年5月15日開催予定）について
平成29年12月4日	第1号議案 2018年度以降の財団運営の方向性について 第2号議案 2018年度対象助成事業について 第3号議案 助成選考委員の選定について 第4号議案 決算月の変更について 第5号議案 冠基金ガイドライン（規程）の承認について
平成30年2月16日	第1号議案 「2018年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の承認」の件 第2号議案 「2018年度助成選定委員会結果（助成先）の承認」の件 第3号議案 「定款の一部変更案の承認」の件 第4号議案 「寄附金等取扱規程の修正案の承認」の件 第5号議案 「平成29年度第2回評議員会の招集」の件
平成30年5月21日	第1号議案 平成29年度定期報告書類（事業報告書および決算諸表等）について 第2号議案 任期満了評議員の再任について（立木評議員） 第3号議案 評議員会の招集（平成30年6月7日開催予定）について 第4号議案 平成30年度役員会の日程調整（みなし理事会含む） 第5号議案 創立5周年記念について 第6号議案 冠基金の広報・募集の推進策について 第7号議案 関連当事者との取引について
平成30年10月24日	第1号議案 「2019年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の承認」の件 第2号議案 「平成30年度第2回評議員会の招集」の件

以上